

**インフォメーション・ディベロプメント、リアルグローブ、日立システムズの3社が協業し、
ドローン等からの取得情報を地図上に共有する
プラットフォームのアプライアンス版、「Hec-Eye パッケージ」を販売開始**

株式会社インフォメーション・ディベロプメント(所在地:東京都千代田区、代表取締役社長:山川 利雄、以下 当社)は、株式会社リアルグローブ(所在地:東京都千代田区、代表取締役社長:大畑 貴弘、以下 リアルグローブ)、株式会社日立システムズ(所在地:東京都品川区、代表取締役 取締役社長:北野 昌宏、以下 日立システムズ)の3社で協業し、ドローン等の位置情報とドローン等で撮影した映像等を地図上に集約し、リアルタイムに共有するプラットフォーム「Hec-Eye(ヘックアイ)」のアプライアンス版、「Hec-Eye パッケージ」を本年6月末に販売開始します。



<Hec-Eye の画面イメージ>

地図上に、「Hec-Eye」に接続されたドローン、スマートフォン等をアイコンで表示。
各デバイスのサムネイルをクリックすると、撮影中の映像を表示。

「Hec-Eye」は、複数のドローンやスマートフォン等の機器と連携し、撮影映像や位置情報等の各種データをリアルタイムに地図上で共有でき、また取得データを統合・管理できる GIS (Geographic Information System) プラットフォームです。「Hec-Eye」を導入することで、複数台のドローンを活用して実施する橋梁点検や、複数の場所で発生している災害等の状況をリアルタイムで一元的に把握することが可能となり、ユーザの迅速な意思決定や対応を支援します。

従来の「Hec-Eye」は、各種設定を個別に行った PC からインターネット経由で利用するクラウドサービスでしたが、PC の設定や障害時の原因切り分け等、ユーザ自身が対処する部分が多くありました。そこで、今回、「Hec-Eye」の開発元であるリアルグローブのソフトウェア技術にくわえ、当社のキッティング体制、日立システムズのコンタクトセンターや販売網を組み合わせ、アプライアンス版「Hec-Eye パッケージ」の販売を開始します。

「Hec-Eye パッケージ」は「Hec-Eye」における導入から利用、不具合発生時の対応まで、サービスをオールインワン化した製品です。

この製品に対して、当社はユーザごとの個別設定情報に基づいて PC をキッティングし、「Hec-Eye」専用 PC として提供します。これにより、PC 起動後すぐに「Hec-Eye」が起動するため、ユーザはサービス利用開始時の面倒な設定作業から解放され、煩雑な運用操作が不要になります。

また、日立システムズは、サービスインフラであるコンタクトセンターを活用し、ユーザからの問い合わせに対応可能なヘルプデスクサービスを提供します。これにより、ユーザからの操作や不具合に関する問い合わせを常時一元的に受け付け、対応することが可能になります。

当社は今後も、「Hec-Eye」をはじめとした WaKu-WaKu する IT ソリューションを、より多くのお客さまに提供できるように取り組んでまいります。また、リアルグローブは、「Hec-Eye」のさらなる改良を進めつつ、より広いユーザにご活用いただける手軽で使いやすいサービスの開発に取り組み、日立システムズは、「Hec-Eye パッケージ」をドローン運用統合管理サービス(詳細は下記をご覧ください)のオプション機能として、全国の販売網を通じて拡販してまいります。

■Hec-Eye について



「Hec-Eye」は総務省の「平成 27 年度補正予算 IoT サービス創出支援事業」の採択案件を通じて構築されたリファレンスモデル(成果物)を核として開発されたサービスで、救急医療・災害対応分野での活動支援や業務効率化を目的として開発され、現在は鳥獣害対策や観光分野等も含めたより広い分野で活用されています。

また、本年3月13日(水)～15日(金)の期間で開催されたジャパン・ドローン 2019(会場:幕張メッセ)の併催イベント「Best of Japan Drone Award 2019」では、ソフトウェア部門の最優秀賞に選出されました。



(注):「Hec-Eye」とは

ギリシャ語で 100 を表す「Hecta」と英語の目を表す「eye」を組み合わせた造語で
“100 の目でまちを見守るシステム”というイメージで名付けられました。

■ドローン運用統合管理サービスについて

全国のサービス拠点やクラウド基盤を活用し、ドローンの操縦や撮影代行、撮影した画像の加工と分析、パブリッククラウドも活用したハイブリッドクラウド環境でのデータの保管・管理、さらには業務システムとのデータ連携を支援するサービスです。2017 年 11 月にはドローンで撮影した 2 次元画像(写真)から構造物全体の 3 次元モデルをクラウド上で生成し、構造物の劣化箇所が全体のどこにあるかをひも付けて管理できる機能を強化しました。これにより、構造物管理時の紙図面から 3 次元モデルへの移行や、構造物点検時の目視から写真利用への移行などを実現し、点検・管理業務の効率向上やサービス品質の向上に貢献しています。

詳細は <https://www.hitachi-systems.com/solution/s0308/robo-d/index.html> をご覧ください。

■リアルグローブについて



株式会社リアルグローブは、『世界の全てを WebAPI 化』することで、適量生産適量消費で地産地消、持続可能な社会を実現するため、社会にあるさまざまな「現場」で AI・IoT・Robotics といった「技術」の活用モデルを作り、社会実装を進めることで、よりよい社会の実現を目指しています。

■社 名: 株式会社リアルグローブ

■本 社 所 在 地: 〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町 2-20-4 八木ビル 201

■代表取締役社長: 大畑 貴弘

■U R L: <https://realglobe.jp>

■日立システムズについて

HITACHI

Inspire the Next

株式会社日立システムズは、幅広い規模・業種システムの構築と、データセンター、ネットワークやセキュリティの運用・監視センター、コンタクトセンター、全国約 300 か所のサービス拠点などの多彩なサービスインフラを生かしたシステム運用・監視・保守が強みの IT サービス企業です。多彩な「人財」と先進の情報技術を組み合わせた独自のサービスによってお客さまのデジタルライゼーションに貢献し、新たな価値創造にともに取り組み、お客さまからすべてを任せていただけるグローバルサービスカンパニーを目指します。

- 社 名：株式会社日立システムズ
- 本 社 所 在 地：〒141-8672
東京都品川区大崎 1-2-1
- 代表取締役 取締役社長：北野 昌宏
- U R L: <https://www.hitachi-systems.com>

■インフォメーション・ディベロップメントについて



株式会社インフォメーション・ディベロップメントは、金融、公共、航空など幅広い業種のお客さまへ、創業以来約 50 年にわたり、システム運営管理やシステム開発を中心とした IT サービスを提供しています。

また、約 20 年間蓄積してきたサイバーセキュリティのノウハウと、長年の運営管理や開発における経験を組み合わせ、お客さまの課題を解決してきました。インフォメーション・ディベロップメントは今後も引き続き、お客さまの IT 環境の向上に貢献します。

- 社 名：株式会社インフォメーション・ディベロップメント
- 本 社 所 在 地：〒102-0076
東京都千代田区五番町 12 番地 1 番町会館
- 代表取締役社長：山川 利雄
- U R L: <https://www.idnet.co.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

担 当 部 署：株式会社インフォメーション・ディベロップメント
サイバー・セキュリティ・ソリューション部 神沼

電 話 番 号：03-3262-9171

メールアドレス：security@idnet.co.jp

U R L: <https://www.idnet.co.jp>

以 上